



## 平成30年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月31日

上場会社名 ナトコ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4627 URL http://www.natoco.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷健次  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山本豊 TEL 0561-32-2285  
 四半期報告書提出予定日 平成30年6月14日 配当支払開始予定日 平成30年7月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年10月期第2四半期の連結業績（平成29年11月1日～平成30年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第2四半期	8,143	8.5	694	6.7	732	2.5	526	15.5
29年10月期第2四半期	7,505	2.5	651	29.0	714	88.1	456	149.2

(注) 包括利益 30年10月期第2四半期 523百万円 (△10.6%) 29年10月期第2四半期 584百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第2四半期	69.83	—
29年10月期第2四半期	60.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第2四半期	22,422	17,584	78.4
29年10月期	22,300	17,197	77.1

(参考) 自己資本 30年10月期第2四半期 17,584百万円 29年10月期 17,197百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期	—	12.00	—	18.00	30.00
30年10月期	—	16.00	—	—	—
30年10月期（予想）	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年10月期の連結業績予想（平成29年11月1日～平成30年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,600	5.0	1,500	2.6	1,520	△5.9	1,020	△6.1	135.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年10月期 2 Q	8,144,400株	29年10月期	8,144,400株
② 期末自己株式数	30年10月期 2 Q	600,920株	29年10月期	600,920株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年10月期 2 Q	7,543,480株	29年10月期 2 Q	7,543,480株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州地域においては堅調さが持続し、アジア地域を始めとする新興国の景気拡大により、全体として緩やかな成長で推移しました。一方、わが国経済は、企業業績の改善や堅調な雇用・所得情勢を背景に景気は緩やかな回復が続きました。

このような状況のもと、当社グループは独自性のある高機能性製品や環境対応型製品の開発を行うとともに、生産性の向上や業務全般の効率化に努め、引き続き販路拡大に向け国内外で営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,143百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益694百万円（前年同期比6.7%増）、経常利益732百万円（前年同期比2.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益526百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

## ①塗料事業

金属用塗料分野では、環境対応型製品への切替えが進む中で、作業性を考慮したエポキシプライマーや工作機械向け塗料「スーパーワン/Super One®」の採用が増えたことで、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。建材用塗料分野では、新規住宅着工件数の減少に伴い、総じて需要が低調であったため、売上高は前年同期に比べ僅かに減少いたしました。利益につきましては、原材料価格の高騰の影響を受け減少いたしました。

その結果、塗料事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は5,153百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は673百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

## ②ファインケミカル事業

中国で情報端末向け製品が新規採用されたことや、自動車内装向けコーティング剤が堅調に推移したことにより、売上高及び利益は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は979百万円（前年同期比49.9%増）、セグメント利益は192百万円（前年同期比504.1%増）となりました。

## ③シンナー事業

前連結会計年度において獲得した新規ユーザー向けの販売量が順調に伸びたことで、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。利益につきましては、原材料価格の高騰や新工場の減価償却費負担増の影響を受け大きく減少いたしました。

その結果、シンナー事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は2,010百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益は114百万円（前年同期比38.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は15,351百万円となり、前連結会計年度末に比べ242百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が226百万円減少したものの、現金及び預金が290百万円、商品及び製品が149百万円増加したことによるものであります。固定資産は7,071百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が87百万円、投資有価証券が28百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は22,422百万円となり、前連結会計年度末に比べ122百万円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は4,082百万円となり、前連結会計年度末に比べ262百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が42百万円、未払法人税等が165百万円、賞与引当金が31百万円減少したことによるものであります。固定負債は756百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が12百万円増加したものの、退職給付に係る負債が5百万円、繰延税金負債が10百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,838百万円となり、前連結会計年度末に比べ264百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は17,584百万円となり、前連結会計年度末に比べ387百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を526百万円計上した一方で、配当金の支払135百万円があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は78.4%(前連結会計年度末は77.1%)となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ296百万円増加し、6,292百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は663百万円(前年同期は502百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益741百万円、減価償却費314百万円、売上債権の減少158百万円による資金の増加と、たな卸資産の増加231百万円、法人税等の税金の支払351百万円による資金の減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は232百万円(前年同期は534百万円の支出)となりました。これは主に資金運用における定期預金の払戻、有価証券の償還及び信託受益権の売却による収入3,219百万円による資金の増加と有形固定資産の取得による支出218百万円、定期預金の預入、有価証券の取得及び信託受益権の取得による支出3,272百万円による資金の減少によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は137百万円(前年同期は109百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払135百万円による資金の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年10月期の連結業績予想につきましては、平成29年12月13日に公表いたしました「平成29年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,275,345	6,565,881
受取手形及び売掛金	5,084,397	4,857,883
電子記録債権	281,327	352,552
有価証券	1,066,180	1,125,714
商品及び製品	1,055,250	1,204,347
仕掛品	35,362	33,782
原材料及び貯蔵品	531,412	620,285
繰延税金資産	128,640	110,916
その他	656,348	485,350
貸倒引当金	△5,122	△4,958
流動資産合計	15,109,143	15,351,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,835,766	2,755,838
機械装置及び運搬具(純額)	1,469,910	1,411,120
土地	1,737,249	1,737,249
その他(純額)	148,122	199,635
有形固定資産合計	6,191,049	6,103,844
無形固定資産	190,908	185,046
投資その他の資産		
投資有価証券	642,638	614,544
繰延税金資産	14,610	14,274
その他	153,541	154,582
貸倒引当金	△1,538	△1,198
投資その他の資産合計	809,252	782,204
固定資産合計	7,191,210	7,071,094
資産合計	22,300,354	22,422,851
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,921,271	2,879,023
未払法人税等	363,568	197,711
賞与引当金	253,458	222,063
役員賞与引当金	34,300	18,900
その他	772,232	764,406
流動負債合計	4,344,830	4,082,105
固定負債		
繰延税金負債	120,894	110,085
役員退職慰労引当金	280,820	292,907
退職給付に係る負債	156,651	151,196
その他	199,985	202,108
固定負債合計	758,351	756,298
負債合計	5,103,181	4,838,403

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	11,917,905	12,308,886
自己株式	△516,252	△516,252
株主資本合計	16,344,530	16,735,511
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	324,118	301,779
為替換算調整勘定	534,006	552,074
退職給付に係る調整累計額	△5,483	△4,918
その他の包括利益累計額合計	852,641	848,935
非支配株主持分	—	—
純資産合計	17,197,172	17,584,447
負債純資産合計	22,300,354	22,422,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
売上高	7,505,571	8,143,339
売上原価	5,570,297	6,055,765
売上総利益	1,935,273	2,087,574
販売費及び一般管理費	1,284,107	1,392,921
営業利益	651,165	694,653
営業外収益		
受取利息	1,067	1,563
受取配当金	5,237	6,037
貸倒引当金戻入額	—	505
為替差益	48,995	12,845
その他	13,886	22,523
営業外収益合計	69,186	43,475
営業外費用		
支払利息	10	7
売上割引	5,515	5,833
その他	556	155
営業外費用合計	6,082	5,995
経常利益	714,269	732,132
特別利益		
固定資産売却益	1,503	4,596
投資有価証券売却益	772	—
補助金収入	6,597	40,954
特別利益合計	8,873	45,550
特別損失		
固定資産処分損	5,325	1,090
固定資産圧縮損	6,340	34,960
特別損失合計	11,666	36,051
税金等調整前四半期純利益	711,476	741,631
法人税、住民税及び事業税	252,306	201,085
法人税等調整額	2,977	13,782
法人税等合計	255,283	214,868
四半期純利益	456,192	526,763
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	456,192	526,763

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
四半期純利益	456,192	526,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,508	△22,339
為替換算調整勘定	58,836	18,067
退職給付に係る調整額	3,262	564
その他の包括利益合計	128,607	△3,706
四半期包括利益	584,800	523,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	584,800	523,056
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年11月1日 至 平成30年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	711,476	741,631
減価償却費	233,604	314,171
固定資産圧縮損	6,340	34,960
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	21	△505
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,477	△4,646
受取利息及び受取配当金	△6,304	△7,600
支払利息	10	7
固定資産処分損益 (△は益)	5,321	1,090
固定資産売却損益 (△は益)	△1,498	△4,596
投資有価証券売却損益 (△は益)	△772	—
為替差損益 (△は益)	△33,763	△14,259
売上債権の増減額 (△は増加)	△186,237	158,691
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△190,762	△231,627
仕入債務の増減額 (△は減少)	75,166	△42,629
補助金収入	△6,597	△40,954
その他	65,724	103,435
小計	673,207	1,007,170
利息及び配当金の受取額	6,296	7,574
利息の支払額	△3	△7
法人税等の還付額	505	—
法人税等の支払額	△177,237	△351,619
営業活動によるキャッシュ・フロー	502,768	663,117
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△134,400	△72,800
定期預金の払戻による収入	140,800	78,800
有価証券の取得による支出	△1,400,000	△2,500,000
有価証券の償還による収入	1,100,000	2,440,465
信託受益権の取得による支出	△1,300,000	△700,000
信託受益権の売却による収入	1,200,093	700,057
有形固定資産の取得による支出	△145,018	△218,027
有形固定資産の売却による収入	1,646	4,615
無形固定資産の取得による支出	△2,410	△3,591
投資有価証券の取得による支出	△888	△1,020
投資有価証券の売却による収入	910	—
差入保証金の差入による支出	△823	△479
差入保証金の回収による収入	1,244	532
補助金の受取額	6,597	40,954
その他	△1,862	△1,862
投資活動によるキャッシュ・フロー	△534,111	△232,355
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△105,537	△135,555
その他	△4,255	△1,843
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109,792	△137,399
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,365	3,172
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△138,769	296,535
現金及び現金同等物の期首残高	6,230,262	5,995,945
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,091,493	6,292,481

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	4,994,508	653,167	1,857,895	7,505,571	—	7,505,571
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,480	1,954	113,911	137,345	△137,345	—
計	5,015,988	655,121	1,971,806	7,642,917	△137,345	7,505,571
セグメント利益	707,261	31,841	184,305	923,407	△272,241	651,165

(注) 1. セグメント利益の調整額△272,241千円は、セグメント間取引消去15,693千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△287,935千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	5,153,470	979,105	2,010,763	8,143,339	—	8,143,339
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,716	4,367	152,131	176,214	△176,214	—
計	5,173,186	983,472	2,162,895	8,319,554	△176,214	8,143,339
セグメント利益	673,212	192,367	114,173	979,752	△285,099	694,653

(注) 1. セグメント利益の調整額△285,099千円は、セグメント間取引消去16,082千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△301,181千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。